

令和3年度 事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

学校法人 中国学園

2021年度中国学園運営基本方針

学長 千葉 喬 三

地方に存在する私立大学・短期大学をめぐる状況は年々厳しさを増している。このような一般的な状況下、本学園は他の在岡学園にはない固有の深刻な財政課題を抱えている。財政課題は、近年にわかに発生したものではなく、過去の長期に亘る学園運営の在り方に起因している。積年の問題を改善するのは容易ではないが、対応に着手しなければならない。教育機関の財務は単に金銭上の問題だけではなく、本質である教育・研究とも密接に関連し、悪循環に陥る危険性がある。新私学法も従前にも増して、教育内容の充実と財政の健全化を厳しく求めており、学園改革は危急の課題となっている。

重点課題

1. 基本理念

学園基本理念『「自律創世」』を単なる標語とせず、全教職員が意識して行動規範とする。

2. 重点改革計画

2020年4月1日から2027年3月31日までの7年間を期間とする『中期計画』が策定されているが、さらに2021年から3年間に絞った重点的な改革策を経営幹部が提示し、実行する必要がある。

3. 教学改革

教育機関の基本的評価はその教育内容についてなされる。本学園においては、すべての学部・学科、全教官が常に「教学の質確保」を意識して教学内容の改善に取り組むことを指向する。そのために、設置済みのIRセンターに、教学改革に関する広範囲な課題について、強い指摘・改革提示の権限を付与する。

4. 学生との意思疎通・情報共有システムの構築

- ・学生ポートフォリオ・システムを導入し、教育効果の向上と教育効果の見える化を図る。
- ・IRセンターを通じて、学生による授業評価結果を学生・教員教育が共有し、教育の質向上に反映させる。
- ・入試・学園生活・卒業後支援・就職支援などの各ステージを有機的に関連させ、学園ブランドの向上を指向する。

5. 経営改善

- ・入学生確保のための総合的戦略の樹立、特に学園広報在り方・手法を抜本的に見直す。
- ・経費支出の見直しを徹底する。とくに人件費比率を60%代に圧縮する。
- ・外部資金を獲得するためのインセンティブを整備する。
- ・各組織における運営ガバナンスの徹底と教職員個々のガバナンス意識の啓発

1. 学校法人の概要

① 教学の理念

「自律創世」

成人として自立し、自分の人生は自らが創ることにより社会の発展に寄与しうる人材を育成することを目指す。

② 沿革

1953 (昭和 28) 年	学校法人平田洋裁学園設立認可、平田洋裁学園設置 (岡山市船頭町 12 番地)
1962 (昭和 37) 年	学校法人平田洋裁学園を学校法人平田学園に改称 中国女子短期大学設置 (岡山市船頭町 12 番地) 家政科設置
1963 (昭和 38) 年	家政科第二部増設
1964 (昭和 39) 年	保育科増設
1965 (昭和 40) 年	中国女子短期大学を都窪郡吉備町 (現岡山市) 庭瀬 83 番地に移転 中国女子短期大学を中国短期大学に改称 英文科 音楽科 増設
1966 (昭和 41) 年	平田洋裁学園を平田デザインスクールに改称
1968 (昭和 43) 年	専攻科 音楽専攻設置
1977 (昭和 52) 年	平田デザインスクールを学校法人平田学園から分離 学校法人事務所を岡山市庭瀬 83 番地に移転
1988 (昭和 63) 年	幼児教育専攻科 英語英文専攻科 増設
1989 (平成元) 年	学校法人平田学園を学校法人中国短期大学に改称
1990 (平成 02) 年	家政科廃止認可
1992 (平成 04) 年	経営情報学科増設
1995 (平成 07) 年	専攻科音楽専攻 学位授与機構認定
1999 (平成 11) 年	人間栄養学科設置
2001 (平成 13) 年	学校法人中国短期大学を学校法人中国学園に改称
2002 (平成 14) 年	中国学園大学開学 現代生活学部人間栄養学科
2003 (平成 15) 年	中国短期大学人間栄養学科 募集停止に伴い学科廃止 専攻科英語コミュニケーション専攻 募集停止に伴い廃止
2006 (平成 18) 年	中国学園大学大学院開設 現代生活学研究科人間栄養学専攻 子ども学部子ども学科開設
2008 (平成 20) 年	専攻科 幼児教育専攻 廃止
2010 (平成 22) 年	中国学園大学大学院設置認可 子ども学研究科子ども学専攻 音楽科募集停止届出 中国短期大学平成 21 年度第三者評価、適格と認められる (短期大学基準協会)
2011 (平成 23) 年	中国学園大学大学院開設 子ども学研究科子ども学専攻 中国学園大学平成 22 年度第三者評価、適格と認められる (日本高等教育評価機構)
2012 (平成 24) 年	音楽科廃止
2013 (平成 25) 年	専攻科音楽専攻廃止 英語コミュニケーション学科募集停止届出

2014（平成26）年	国際教養学部国際教養学科設置認可
2015（平成27）年	国際教養学部国際教養学科開設 中国短期大学平成27年度第三者評価、適格と認められる（短期大学基準協会） 英語コミュニケーション学科廃止
2016（平成28）年	中国学園大学平成28年度第三者評価、適格と認められる（日本高等教育評価機構）
2019（平成31）年	幼保連携型認定こども園 中国学園大学・中国短期大学附属たねのくにこども園開園（岡山市北区中撫川351番地）
2020（令和2）年	専攻科介護福祉専攻廃止

③設置学校等

学校法人中国学園	理事長：中 島 義 雄
中国学園大学	所在地：岡山市北区庭瀬83番地 学 長：千 葉 喬 三
中国短期大学	所在地：岡山市北区庭瀬83番地 学 長：千 葉 喬 三
中国学園大学・中国短期大学附属たねのくにこども園	所在地：岡山市北区中撫川351番地 園 長：勘 藤 まり子

④役員及び教職員に関する情報

					大 学	短期大学	小計	こども園	合 計
役 員	理 事	8名	教 員	常 勤	54名	28名	82名	21名	103名
	評議員	24名		非常勤	33名	22名	55名		55名
	監 事	2名	職 員	常 勤	36名			9名	45名

※大学教員には、学長、副学長を含む。

※こども園職員には、園長、副園長を含む。

2. 事業の概要

(1) 当該年度の主な事業の概要

《大学・短大》

I. 学部・学科の重点的取組

◎中国学園大学

【現代生活学部人間栄養学科】

令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、対面形式により年度当初のカリキュラム内容を実施した。当学部としては管理栄養士国家試験対策の充実と受験者数及び入学者数の増加のための支援対策に注力した。

(1) 管理栄養士合格者の増加

管理栄養士演習、管理栄養士専門演習、総合演習の授業のなかで国家試験への対策を行った。また空きコマを利用して、学生には復習を奨励し、管理栄養士国家試験合格者の増加対策を図った。

- ・3年次生対象の管理栄養士演習Ⅰ、Ⅱにおいて、管理栄養士国家試験に求められる基礎的内容について復習授業を実施し、管理栄養士国家試験に対する意識付けならびに国家試験への対策準備を行った。
- ・4年次生前期対象の管理栄養士専門演習において、管理栄養士国家試験に求められる基本的内容の復習及び実践的問題演習等を実施し、理解度の向上及び実践応用力の蓄積を図った。
- ・4年次生後期の総合演習において、グループ学修による知識と理解度の更なる向上を図るとともに、定期的に国家試験に準拠した模擬試験を実施した。

以上の対策の結果、令和3年度の管理栄養士国家試験は、新卒受験者29名中4名が不合格となり、合格率は86.2%と全国の管理栄養士養成施設新卒者の合格率92.9%を下回った。なお、岡山県内の管理栄養士養成施設7大学のうち、全国の管理栄養士養成施設新卒者の合格率を下回ったのは本学を含め2大学のみであった。次年度以降、新体制の下で抜本的な対策の必要がある。

(2) 家庭と連携した学生支援

全学年の保護者を対象にした学科別懇談会ならびに3年次生を対象にした、学生、保護者、教員による三者面談を実施し、大学における学業や就職活動に対する理解を深めた。

大学での学修や生活について学生と保護者が理解を深めるとともに、管理栄養士を中心とする就職活動の支援を図った。

- ・全学年を対象にした、保護者及び担任による学科別懇談会を7月に実施し、相互理解を深めた。
- ・3年次生を対象に、学生、保護者に対し臨地実習、就職活動、卒業要件、国家試験に関する説明会を9月に実施した。3年次後期からの臨地実習、就職活動、卒業要件、国家試験に関する内容を共有するとともに、就職支援部部長から就職に関する最新情報を説明して頂いた。併せて希望者との三者面談を実施し、個別対応を行った。

(3) キャリアデザイン教育の充実

管理栄養士の社会における使命および業務についての理解を深め、職業意識を高めるため、ファーストイヤーセミナー、栄養セミナーにより、栄養学の理解を深めると共に、それを実践する管理栄養士や栄養士に対する職業意識を高める教育を行った。

- ・ファーストイヤーセミナーのなかで管理栄養士に対する理解を深め、実社会における管理栄養士の使命および業務内容についての理解を深め、職業意識を高め将来の姿を確立するための講演等を実施した。
- ・栄養セミナーⅠにおいて、管理栄養士の業務内容をグループ学修で調査したり、コミュニケーション力、スケジュール管理、マナー講座等社会への対応ができる力の醸成を図った。

(4) 基礎学力向上、リメディアル教育の充実

栄養学を学ぶ上で必要な分野の基礎学力の向上を図り、大学での学習の促進につなげる活動を行った。基礎学力として国語力や計算力の向上を図り、また未履修科目（理数系科目）の学修の推進を図った。

- ・基礎学力の充実を図るため、大学入学前の学習の徹底ならびに漢字検定の受験を課した。
- ・独自テキストを用い、個人の学力に合わせて未履修科目（理数系科目）の学修向上を図った。

(5) 地域連携と共同研究による学生生活の充実

県内企業・団体等と連携し、レシピ開発等を実施しながら、学生生活の充実を図った。

- ・栄養セミナーⅢの授業の一環として、岡山市保健所、JA 全農おかやま、岡山県中小企業団体中央会等と連携し、レシピ開発、健康推進啓発活動を実施した。
- ・栄養セミナーⅣ（卒業研究）の一環として、地域連携を図る活動を行った。

(6) 学生募集の強化

オープンキャンパスや入試説明会等の機会を有効に活用し、学部の特徴の周知を図った。

- ・オープンキャンパスや入試説明会等の機会を有効に活用し、入試広報部と連携しながら、管理栄養士養成課程での学修内容および管理栄養士の理解の向上を図った。
- ・学部の特徴や理解向上に努めるため、インスタグラムの開設、ホームページの教員紹介欄の追加等による充実、動画の作成、また学部の内容を紹介した学科新聞の作成・配布などを行い、学部の広報を行った。
- ・オープンキャンパスにおいて卒業生を招聘し、学生時代と現在の職場について話をしてもらい、高校生への学修内容の理解向上に努めた。
- ・総合型選抜入試希望者を対象に、オープンキャンパスにおいて事前相談会を実施し、事前相談会参加者に対して、学部長・学科長から月2回程度のペースで定期的に入学予定者への情報提供を行った。

【子ども学部子ども学科】

(1) 2022、2023 年度に向けての授業内容確認と充実

2021 年度入学生のカリキュラムに「子どもとダンス」（3 年次後期）、「子どもとゲーム」（4 年次前期）を配置した。2023 年度に特別支援教諭養成課程の開設の可能性を検討したが人員配置の見通しが立たなかったため断念した。引き続き、2024 年度開設の可能性を検討することとした。

(2) 保幼コースと小学校コース 継続的な採用試験対策

- ・教志会を中心とした勉強会や採用試験対策セミナーを実施した。

小学校一次試験対策セミナー6/7~30、小学校二次試験対策セミナー7/14. 15、8/6~12

幼保一次試験対策セミナー6/2～7/21、二次試験対策セミナー8/17～20
実技・面接試験個別対応（4年生対象）随時
春期採用試験対策セミナー2/14～18

(3) 教志会を中心とした子ども学科 commons の利用拡大

コロナ感染症対策として commons の机上に透明パーティションを設置した。就職試験へ向けて4年生が自習をしていた。後期からは3年生が自習をし始めた。また、commons を会場として前期後期ともボランティア活動を計画していたが、緊急事態宣言等により活用できなかった。

(4) キャリア教育の充実

就職試験に課せられる筆記試験については、毎授業で小テストを実施し知識の定着を図った。また、二次試験で行われる面接、グループ・ディスカッション、実技などに対応できるよう外部講師を招いて授業を行った。

(5) M404、M504 室の利用

M404 は狭いためコロナ感染症対策上、教員の会議以外には利用しなかった。M504 は commons と同様に就職試験へ向けて4年生が自習をしていた。

(6) 岡山県備前県民局子育てカレッジとの共催

前期後期共に緊急事態宣言等のため「中国学園大学こども・あごら」事業を実施できなかった。

(7) 子ども学部子ども学科シンポジウム

令和4年3月に「SGDs 推進教師・保育士の育成」をテーマにオンラインでシンポジウムを開催した。

(8) 募集広報の検討

緊急事態宣言が明けた7月に岡山県内・福山地区の高校への募集活動を行った。11月からも幼稚園・小学校教育実習の指導訪問に合わせて高校訪問を行った。また、オープンキャンパスに参加した高校生等へのグッズ郵送を子ども学科独自で3回実施した。

(9) 子ども学科保護者会

白鷺祭時に実施予定であったが、外部からの来場を控えたため実施しなかった。11月の後援会総会後の学科別懇談会を実施し意見を聴取することができた。

(10) 入学前オリエンテーション

令和4年度入学予定者を対象に入学前オリエンテーションを令和4年2月と3月に実施する予定であったが、コロナ感染拡大に伴い中止した。

入学前オリエンテーションの内容：課題図書・問題集・ピアノ実技指導等

(11) たねのくにこども園との連携

前期には、毎月1回「エプロンシアター」「プログラミング」を実施した。後期には、引き続き毎月1回「プログラミング」を行うとともに、不定期に「エプロンシアター」「手袋シアター」「積み木遊び」「わらべうた・童謡」等を実施した。

【国際教養部国際教養学科】

(1) ディプロマポリシー達成のための卒業研究支援

- ①テーマ発表：5月19日（水）（例年、4月に卒論テーマの発表会を実施してきたが、今年度は担当教員からメールでテーマを提出することとした。）
- ②専門ゼミ III、IV：指導教員の各ゼミにて研究計画策定、データ・文献収集、データ分析、論文執筆方法などの指導。
- ③中間発表会：10月20日（水）、27日（水）に実施。進捗状況・今後の予定を確認。
- ④卒業研究発表会：2月3日（木）、4日（金）に実施。卒論提出予定者34名が質疑応答時間を含めた発表時間15分で成果を発表した。

(2) 学習意欲を高める学生指導

- ①1年生：主に導入ゼミナールを通じて人権教育、図書館ガイダンス、大学における学修方法について教育。2名ずつ担当教員を決め、研究の進め方について指導するとともにブックレポートを各期2本課した。前期は英語暗唱コンテスト、後期は英語スピーチコンテストを実施し、優秀者を表彰した。さらに、全員英語 e ラーニング教材を受講し英単語力の増進に努めた。
- ②2年生：基礎ゼミ I、II において、論文、書籍の輪読を通して、先行研究の成果を学修する方法を指導。地域アクティブラーニングを通して、地域調査の方法、課題解決型学修（PBL）を指導するとともに、調査報告会を開催。
- ③3年生：専門ゼミ I、II を通して、文献レビューと卒論のテーマ選定の指導。
- ④4年生：上記の卒業研究指導。
- ⑤TOEIC IP：英語学習の意欲を高める目的で、4月8日と8月6日の年2回実施（令和4年2月15日に3回目を実施する予定であったが新型コロナ流行状況に鑑み令和4年度当初に延期）。4月8日の受験者は、1年生19名。8月6日の受験者は、1年生18名、2年生3名、3年生3名の計24名。

※新型コロナウイルスの流行により、5月13日～6月18日までオンライン授業を実施した。その間、学習意欲を維持できるよう、各教員が授業内容を工夫し、課題やテストを Google Classroom や Google form を活用して実施した。

(3) 短期・長期海外留学支援

①短期海外留学

令和2年度同様ベトナム、ホーチミン市にある本学の交流協定校、ホンバン国際大学での短期海外留学を当初計画したが、新型コロナウイルス感染拡大による日本・ベトナムの渡航制限等を考慮して延期した。その後、海外での留学体験が難しいことから、国内での語学研修に切り替え、大阪の YOLO Japan によるイングリッシュキャンプを計画した。当初3月19日～25日までの計画であったが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、令和4年6月に再延することとした。

②長期海外留学

長期（セメスター）海外留学は、2年生を対象に英語圏およびアジアの国際交流協定大学への長期留学を勧める事業として、これまで継続して実施してきた。しかし、短期留学の延期と同じ理由から、今年度は中止を決定し、学生募集を行わなかった。ただし、学生の海外長期派遣は留学する学生はもとより学部全体にとっても異文化理解を深める教育効果があり、来年度以降も海外留学を推奨する予定である。

(4) 国際交流事業

① 高苑科技大学との交換留学

今年度予定していた夏期・冬期の文化交流はともに留学事業と同じ理由から中止した。

高苑科技大学からの短期留学の派遣は先方の判断で中止された。

- ② ホンバン大学からの短期留学希望者の受け入れ
コロナウイルス感染防止のために中止となった。
- ③ 大葉大学(台湾)との協定締結
台湾の大葉大学との協定を締結した。今後国際交流を促進する予定である。
- ④ フェ大学(ベトナム)との協定締結
ベトナムのフェ大学との協定を締結した。今後国際交流を促進する予定である。

(5) キャリア教育支援（就職支援事業）とインターンシップ

① トップリーダー講義

講師：萩原工業(株) 経営戦略室 室長 高宮 純一、(株)トミヤコーポレーション 代表取締役会長 古市 大藏、一般社団法人飛鳥学園 代表理事 堂野博之、岡山商工会議所 会頭 松田 久、JA岡山中央 会長 青江 伯夫、日本貿易振興機構 所長 相原 君俊、元全日本代表女子バレーボールプレーヤー 山口 舞（入試広報部）、ナカシマプロペラ(株) 代表取締役社長 中島 基善、タルマーリー オーナー 渡邊 格などを招へいして実施。

② キャリアデザイン

講師：NPO エリア・イノベーション代表 藤井 智晴、(株)リョービツアーズ専務取締役 小童谷 靖則、ミチナス 代表 長江 由美子、Air Bonheur 代表 藤原 奈緒美を招へいして実施。

③ インターンシップ

3年生7名が総社市役所、および、ANA クラウンホテル岡山、(株)トミヤコーポレーション、(株)ODL、(株)ナンバ、宮島グランドホテル 有もと（廿日市市）などで実施。夏休み期間中の緊急事態宣言などが影響し、実施者が少なかった。

(6) 資格取得支援

中学校・高等学校外国語(英語)教諭一種免許状取得希望者には、教科・教職科目を用意し、教育実習の指導および採用試験に向けたアドバイスなどを行った。1名が中学校教員採用試験を受験した。結果は、残念ながら不合格であった。残念ながら免許状取得者の中に教員になる学生はいなかったが、教職実践演習等の講座において、実習を通して物の見方や考え方など人間的な面で著しい成長が見られた。

その他、1年生は観光ビジネス実務士、上級ビジネス実務士、2年以上はそれらに加えて、ビジネス実務士、日本語教育課程修了証といった、本学の教育カリキュラム履修により取得可能である資格の取得申請を勧めた。

(7) 学部広報の充実

① 学部改組の広報

令和3年度からマネジメントを柱にした新カリキュラムによる教育を実施した。リージョナル・マネジメントコース、グローバル・マネジメントコース、アグリ&フード・マネジメントコースの3つのコースに改訂されていることを周知すべく、大学案内、ホームページ、オープンキャンパス、高校ガイダンス、高校訪問などを通じて広報した。

なお、web上の活動としてInstagramを開設し、学部の諸活動の紹介を行うことにした。さらに、学部のPR動画を撮影し、YouTubeチャンネルにて公開した。

また、新カリキュラムにアグリ&フード・コースがあることから、10月30日にシンポジウム「岡山の農産物のブランド化を考える」を開催した。

② 高校ガイダンス

次の11高校にて学部ガイダンスを実施した：

就実、津山商業、隠岐、津山東、共生、如水館、英明、邑久、呉昭和、銀河学院、関西高校で行った。

③ 高校での出前講座・講演会

玉島商業、鳥取商業、倉敷、瀬戸南、勝間田、倉敷古城池、邑久の7校にて出前講座、講演会を実施した。

④ 高大連携

岡山県立岡山東商業高等学校第3学年と地域の課題解決学修(PBL)での連携協定を結び、「久米南町下鞆地区」の課題解決に連携して活動。

岡山県立玉島商業高等学校3年生を対象とした「グローバル人材育成講座」において、本学教員が年間6回講座を行った。内1回(10月21日)は高校生が本学を来学し、国際交流講座としてベトナム人留学生による話や外国人教員による特別講義を受講する形で実施した。

【大学院現代生活学研究科人間栄養学専攻】

(1) 学生募集

2017年度より4年間入学者がみられない状況の中、令和3年度、令和4年度に各々1名ずつではあるが、入学生を迎えることができた。

しかしながら、3年生を対象とし、令和5年度入学者募集も目的としている現代生活学セミナーは、新型コロナウイルス感染症の状況による学部授業等の様々な行事スケジュールの変更により開催できなかった。

本研究科の教育および研究内容について、学部内および学外への情報発信は十分とは言えない状況であった。本研究科の魅力や長期履修制度等についても広く周知する手段を考え、修学を希望する社会人等、広く入学者確保に努める予定である。

(2) 教育の質保証

食・栄養に関わる高度専門職業人として必要な普遍的な知識を、受講生に広く理解させることを目的に、今年度より本研究科教員全員を担当教員として開講した、必修科目である総合人間栄養学および総合食品栄養学特論は円滑に行われ、一定の成果が得られた。

学生の研究テーマについては、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響のため、実験計画進行に難渋したが、後期においてかなりの成果が得られ、令和4年度末に向けた修士論文完成の道筋がつけられた。

【大学院子ども学研究科子ども学専攻】

(1) 広報活動

大学院学則が改正され、長期履修制度が導入されたのに伴い、現役の小学校教諭・講師、放課後児童クラブの保育士を対象として募集活動を行った。長期履修制度を利用しての修学を勧める案内リーフレットを作成し、学童保育の研修会の機会に参加者に案内し、リーフレットを配布するとともに、近隣の小学校や放課後児童クラブを訪問して広報を行った。また、子ども学部在学学生に対しては、保育教職実践演習などの授業において紹介した。

(2) 研究活動

現在4名(1名は休学中)の大学院生が在籍している。修士論文については各指導教員が研究計画に沿って個別指導を行った。1名は修士論文を完成させ論文審査会を経て修了した。

(3) カリキュラムマネジメント

4名の大学院生はいずれも有職の社会人なので、授業の開講時間を夕方や休日等に設定し

便宜を図った。

◎中国短期大学 【総合生活学科】

(1) 生活創造コース・医療事務コースの揺るがぬ運営

本学科は長年、生活学の正当な流れを汲む「生活創造コース」と学生募集時に人気が高い「医療事務コース」で運営されてきた。その中で、令和3年4月1日より介護福祉士を養成する「生活福祉コース」を開設した。新設のコースの入学者をできるだけ確保するために、令和2年度にはオープンキャンパスや高校訪問を通して幅広く広報活動を行った。

令和3年度の運営においては、「生活福祉コース」が新設されたことで既存の「生活創造コース」や「医療事務コース」の運営に影響が出ないよう学科所属教職員の協力・連携を進め、継続的にPDCAサイクルを活用しながら良好な運営に努めた。

(2) 保育学科専攻科介護福祉専攻（短大卒対象1年制）から、総合生活学科生活福祉コース（高校卒対象2年制）への移行への対応

令和3年度より、従来からの総合生活学科のメンバー6名と、専攻科介護福祉専攻のメンバー3名を合わせた9名の教員により本学科の運営がスタートした。生活学は学問領域が狭い領域に集中しているものではなく、多岐に渡る複合分野である。本学科構成員の学問分野は、衣生活分野（1名）、食生活分野（2名）、医療事務分野（1名）、生活コミュニケーション分野（1名）、生活福祉分野（4名）という構成になった。

現代生活において「福祉」は欠かせない分野でもあるので、「生活創造コース」、「医療事務コース」に「生活福祉コース」が加わった今年度の総合生活学科は一層充実を図ることができた。生活の各分野の人材だけではなく、今後の日本の介護福祉分野の人材を育成する土台がつけられ、完成形の総合生活学科の体制が整った。また、保育学科専攻科介護福祉専攻から、総合生活学科の生活福祉コースへの移行への対応においても大きな問題が生じることなく初年度がスタートできた。総合生活学科には多様な学問領域の教員が在籍している。これは総合生活学科の強みであり、現代をしなやかに生き抜く「生活人」の育成には何より適している。

令和3年度は本学科の新たな運営方法を調整している段階にあった。令和3年4月1日にスタートした「生活福祉コース」の1期生のプログラムが終了するのは令和5年3月31日である。学科運営において今年度を含め、完成年度までに浮き彫りになる問題点や補完するところを明確化し、引き続き学科内の運営方式を調整・見直していき時代の変化に合わせて適合させる予定である。

(3) 総合生活学科生活福祉コース立ち上げに際しての備品・物品のアップデート

介護用ベッドを1台刷新した。その他、実習で使用する小規模の物品を入れ替えた。今後も、生活福祉コースに関わる備品・物品のアップデートを継続する。

(4) 生活福祉コース立ち上げに伴う高等学校へのご挨拶

生活福祉コース募集啓発用クリアファイルを1500部作成した。入試広報部に1200部を預け、高校訪問・入試ガイダンス・来学者説明会等で活用していただいた。

令和3年度は序盤から新型コロナウイルスが蔓延し、第5波が収まるという実感が強まったのは東京オリンピック・パラリンピックが終了し、日本国民の過半数を超えた人がワクチン接種を済ませた10月になってからである。さらに、年末より、第6波の発生の兆候が確認され始め、隣県である広島県では令和4年1月9日からまん延防止重点措置期間になり、随時岡山県も含めたその他の県も同様の状態となった。このような状況のため、本学科の計

画とタイミングが合わず、本学科教員による高等学校へのご挨拶は行えなかったことから、本学園の入試広報部のご挨拶に一任し、対面による広報活動を行なった。

一方で、本学科では令和2年度にInstagramのアカウントを開設したが、その継続的運用を行なっている。本学科に興味をもつ方々に多くのビジュアル的な情報を伝えるために、情報の提供が途絶えないように運用していく。

【保育学科】

本学科の目指す学生像である「豊かな人間性を身につけた学生」「幅広い専門的知識・技能、実践的指導力を身につけた学生」「目標達成に向けて努力する学生」を達成するため、主として次の事業を実施した。

- (1) たねのくにこども園と連携を図った魅力ある授業づくり
 - ・ 保育者基礎演習の教科では、たねのくにこども園を訪れ、保育者のかかわりや子どもたちの様子、環境構成を見学した。また、乳児の様子をビデオ撮影し授業で学生たちに見せることにより、乳児に対する理解を深め学びの総合化を図った。
- (2) 基礎学力・基礎技能の育成を図る授業づくり
 - ・ 講義や演習では、学生が主体的・対話的で深い学びができるように工夫し、学修課題の提示、教育機器やワークシートを活用した説明、グループワーク、発表、振り返りシートの記入等を取り入れることにより、知識・技能を修得するとともに、それを活用して課題を解決するための思考力・判断力、表現力の育成を図った。
 - ・ 社会福祉等の教科においてNIE教育を取り入れ、実社会と結びつけた学修を行うとともに、読む力、考える力、書く力の強化を図った。
 - ・ 保育内容の理解と方法等の教科において、教材・教具等を工夫し、実践的・創造的な学びを保障するよう努めた。
 - ・ 音楽基礎演習等の教科において、グレード制を取り入れることで、ピアノの技術の定着を図った。また、学生が自由にピアノの練習ができるように、練習室の使用時間を設定した。
 - ・ 緊急事態宣言中のリモート授業においては、ICT機器を活用して授業内容を工夫し、授業の質を落とさないようにした。
- (3) 保育実習・教育実習における学びの充実
 - ・ 保育実習が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、予定通り実施できず、時期をずらしたり、一部学内演習に代えたりして対応した。そのため、例年のような事前・事後指導と保育実習発表会は中止した。
 - ・ 幼稚園教育実習では、発達障がい相談支援専門員2名を招聘し、幼稚園における教育の実態や特別支援教育について講話をしていただき、実習への心構えと意欲の向上を図った。
 - ・ 特別講義「子どもに対する性の健康教育のあり方」で、保育所・幼稚園において遭遇する事柄への適切な対応方法について理解を深めた。
- (4) 保育学科発表会等の開催による学修成果の発表
 - ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、第49回保育学科発表会は本学音楽ホールを会場にして無観客で開催した。公演の様子は、ビデオ録画し、1年生や保護者に公開した。
 - ・ 中国四国保育学生研究大会はオンラインで開催され、本学は学生の授業成果を動画にして発表した。他大学の発表についても学生に視聴するように呼び掛け、発表を自らの学びに活かせるようにした。
- (5) 中短子育てパーク事業等の実施による地域連携・地域貢献の推進

- ・ 「中短子育てパーク事業」を吉備公民館・NPO 法人岡山市こどもセンターで共同開催し、学生が企画した室内遊びや中庭での水遊び等を実施することを通して、地域の子どもや保護者との交流を行った。「この指と一まれ」は当初の予定では、5回行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、1回中止になり、4回の開催になった。
- ・ 「ちゅうたんおもちゃ公園」は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした。

(6) ホームカミングデイ、リカレント研修会等の開催による卒業生支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、県内のみであったが、教員が前年度の卒業生の就職先を訪問し、園長・施設長に採用への謝辞を述べ本人と面会して様子等を聞いた。卒業生にとって意義深いものと感じられる。
- ・ 前年度の卒業生を対象にしたホームカミングデイは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になったが、卒業生の学びの場は提供したいとの考えから、リカレント研修会「0歳児からできる運動遊び～手作り教材を使って～」を11月14日（日）にオンラインで実施した。（講師：土田豊先生）

【情報ビジネス学科】

(1) 学修内容のレベルアップ

昨年度フィールドの見直しを行い、専門フィールドとして、「経営・会計フィールド」、「ビジネス・キャリアフィールド」、「情報フィールド」、「メディアフィールド」の4つのフィールドに加え、「心理学フィールド」、「データサイエンスフィールド」の2つのフィールドを設置し、カリキュラムの充実を図った。在学生に対する仕上げとしてきめ細かな履修指導を行い、多くの履修者を得た。新入生に対してもカリキュラムツリーに即してきめ細かな履修指導を行った。ファイナンシャルプランナーについては目標とした全員3級合格は達成できなかったが、多数の学生が合格できた。さらに、MOS、日商簿記検定についても、目標別クラスの導入によりそれぞれ多くの合格者を輩出できた。日商簿記検定については2級合格者も数名出ている。

(2) 実践型体験学修の強化

授業で得られた知識やスキルを実践する力を育成するための実践型体験学修をさらに強化するというスローガンのもとに10年以上に渡り体験学習として取り組んできた番組制作体験の「キニナル箱！」（テレビせとうち及びレディオモモで放送）は昨年度コロナの影響により作成・放送が減少し、学生の参加機会も大幅に少なくなった。今年度4回の番組制作をもってちょうど100回の放送を達成した。ただし時代の変化等の要素もあり新たな事業を模索する時期に来ていることを認識している。

また、ラジオの取り組みに関しては、学生たちの要望も強く、実際に現場での番組制作や出演という貴重な体験をし、充実した経験と満足を与えることができた。地域連携・企業連携の一環としての地域のイベントや音楽イベントなどへのボランティアスタッフとしての参加については、コロナ禍の最中であり、多くは実施できなかったが、参加した学生は満足感・達成感を得ることができた。

(3) 学生募集のための新たなスキーマの整備

消費者行動のモデルであるAISASやSIPSを参考に、SNSやYouTubeなど、近年の広報活動の重要な手段となっているデジタルコンテンツを活用して、学科の特色を活かした募集活動を展開する予定であったが、YouTubeへの投稿は一部おこなっているものの、SNSは十分活用できていない状態にない。今後に向けての課題と位置付けている。また、7月には紙媒体のリーフレットを制作し、イベントや高校訪問の際に配布した。

(4) 留学生への対応の充実

留学生担当教員 2 名を中心に、学科の全教職員での学修支援や生活支援を行った。学生の様子を見ながら面談やアドバイスを行い、卒業・就職に結びつくよう指導した。残念ながら卒業・就職できなかった学生も出てしまったが、各教員は精一杯努力したつもりである。

Ⅱ こども園の重点的取組

(1) 附属園としての基盤構築

幼保連携型認定こども園として、4 月当初は 1 号認定子ども 43 名、2 号認定子ども 88 名 3 号認定子ども 60 名合計 191 名を受け入れ、教育・保育活動を行った。年度途中の入退園があり、令和 3 年度末は 195 名となった。

新型コロナウイルス感染症対策を取りつつ、可能な限り子ども達が多く体験が積み重なるよう教育・保育活動を工夫した。園行事は中止・縮小する等した。そのため、予定していた地域の方との交流の機会が持てず、「地域に根差す園」として地域へ浸透することが難しかった。

(2) 大学・短期大学との協働

①園児対象に大学・短期大学の教員や学生が行うもの

<遊びの提供>

運動遊び・タブレットを使ってプログラミング・キッズイングリッシュ・エプロンシアター・英語に親しむ遊びを定期的実施した。菜園での野菜栽培や収穫を実施した。

②大学・短期大学の教員や学生を対象にこども園で行うもの

こども園での授業（子ども学科・保育学科）・保育実習（子ども学科・保育学科）・幼稚園教育実習（子ども学科・保育学科）・調査研究（子ども学科・保育学科・人間栄養学科）

(3) 子育て支援

①園児の保護者に対するもの

- ・延長保育事業を実施した。保育短時間延長は年間 87 名、保育標準時間延長は年間 4700 名、合計年間延べ 4787 名の利用があった。
- ・幼稚園型一時預かり事業を実施した。年間延べ 1176 名の利用があった。
- ・休日保育事業を実施した。年間延べ 176 名（内、平日は他園利用者 41 名）の利用があった。

②地域の子育て家庭に対するもの

- ・地域の未就園児の一時預かり事業を実施した。年間延べ 173 名の利用があった
- ・大学、短期大学教員による「子育て支援講座」を年間 6 回計画していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置等のため中止した。
- ・園職員による「ふれあい親子広場」「園庭開放」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から自粛した。

(4) 教育及び保育の質の向上

テーマを設定した園内研究を実施。中国学園教員による園内研修や各団体が主催する外部研修に参加した。研修内容は園内で共有し、日々の教育及び保育に取り入れるよ努めた。

Ⅲ 事務局及び機関の重点事業

(1) 学部・学科の発展的改組の推進等

大学では、2021 年度から国際教養学部国際教養学科をリージョナル・マネジメント・コ

ース、グローバル・マネジメント・コース、アグリ&フード・マネジメント・コースの3コースに改組した。

また、短期大学では、2020年度末で専攻科介護福祉専攻を廃止し、2021年度に総合生活学科に生活福祉コースを新設した。

これらの学部・学科を含め、中国学園大学及び中国短期大学が魅力あるものとなるよう、学部・学科の名称の変更や学部・学科の在り方等も含め改革を進めた。

事務局においても効率的な組織への転換を図るとともに業務の見直しを行い効率化を進めている。

(2) 学生確保の取組みの充実・強化

令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症のため、さまざまな広報活動が中止、変更を余儀なくされた。その中で試行錯誤をしながら広報活動を行った。

令和4年4月の入学者数は、令和3年4月と同数で、令和2年度4月と比べて2割以上減少するという、極めて厳しい結果であった。すべての学部・学科で定員割れした。年内に実施された総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校）は昨年度と比べて約15%増となり、一昨年度並みの出願者数となったが、併願可能な区分は軒並み、昨年度、一昨年度と比べてほぼ半減した。18歳人口の減少が急速に進むとともに、私大の定員厳格化による影響が落ち着いてくるなどの外部環境の変化の傾向に加えて、県内私立大学で年内入試での困り込みが顕著であったことが影響を与えたものと分析している。

① オープンキャンパスの内容、方法の見直し、充実

- ・6月分はz o o mで実施した。そのこともあって、7月、8月分については急きょ土曜日、日曜日の連続実施とした。7月分以降は参加者の制限はなくなったが、学長あいさつをz o o mで行った。全体会では就職状況、学費など、ニーズの高い事項を説明した。なお、6月、7月、8月分については総合型選抜の事前相談を並行して行った。ランチ無料体験は中止した。3月は本学学生に、補助員として協力を得ることができた。
- ・広報スタッフ（CGスマイル）には、オープンキャンパスの準備、大学案内に対する意見聴取、大学訪問の案内をはじめとして広報活動に協力してもらった。
- ・ミニオープンキャンパスと称して、希望者からの申し込みに応じて、説明会を開催した。43名が参加し、そのうち3年生は大半の生徒が入学した。

② W e bでの情報発信の見直し、内容、方法の改善

- ・HPを見る人の属性などに応じて、注目してほしい内容が表示される「T E T O R I」というシステムを導入した。時期や重点を置くべき事項に対する情報発信を行った。
- ・HPに本学のV R見学、入試説明などの動画をアップした。
- ・各学科で行っているインスタグラムによる情報発信を積極的に紹介した。
- ・L I N Eを用いて、本学に関心を抱いている高校生に対してオープンキャンパスなどの情報を発信するとともに、質問を受けた。延べ100人以上が質問をし、受験生へのフォローとともに、入学予定者の不安解消にも有用であった。L I N Eの登録者を増やすために、資料を配付する際にQRコードの印刷された用紙を添付した。オープンキャンパスの日にL I N Eのお友だち登録を促進し、各回で100人前後の登録者増があった。

③ さまざまなチャンネルにより高校生、保護者、高校教員と接触し、信頼関係を構築した上で、本学の魅力を対面で発信

- ・出張講義を4回実施し、対象校に対して本学の魅力をアピールすることができた。
- ・教員、入試広報部の職員による高校訪問は、時期に応じて形態、方法などを工夫しながら実施した。
- ・連携協定校である倉敷高校、銀河学院を対象とする活動をのべ35回実施し、関係を強化した。
- ・国際教養学部、総合生活学科の改編、新コースについては追加予算によるDMなどを含

め、積極的に発信した。

- ・高校教員対象の説明会のうち2回はz o o mで行い、福山会場については中止した。
- ・大学案内は巻頭に学長の方針を置くように改めた。W e bとの連携に配慮した編集も工夫した。

(3) 学生支援の充実

学生の大学における満足度は受験生の大学人気に与える影響が大きい。

「学生主体の大学」というコンセプトのもとに、学生の立場や参画を念頭においた改革を推進し、学生の満足度をより一層高めていく必要がある。そのため次の取組みを積極的に実施した。

① 就職支援の充実強化

令和2年度の卒業生の就職率は大学 98.6%、短期大学 97.6%、専攻科 100%であった。高い就職率を維持し、学生一人ひとりが満足した就職ができるように、次の5点について学生支援体制を強化する。次に、3月末現在の就職状況を示す。

1 各学部・学科と就職支援センターとの連携を強化する

就職支援委員会を活発にするため、学部学科との連携を深め、学生に自分の希望する仕事につけるよう、お互いの知恵を出し合い、工夫した取り組みを行う。その方法の一つが、就職ガイダンス参加者に書かせている「ガイダンス日誌」である。これによって、学生一人ひとりのガイダンス参加時の感想を共有し、就職支援委員から学生に直接アドバイスをすることができる。

また、岡山公共職業安定所（おかやま新卒応援ハローワーク）との連携はもとより、就職情報会社、並びに日本私立大学協会、全国私立大学就職指導研究会、岡山私立大学就職指導研究会等他団体と交流を密にする中で、各種の情報収集を行うとともに、その情報を学生に対してはもちろんのこと、就職支援委員の先生方にも共有する。

		令和3年度					令和2年度(3/29)	
		卒業数	就職希望者数	内定者数	内定率	進学者数	内定者数	内定率
大学院	人間栄養学専攻				—			—
	子ども学専攻	1	1		—		1	100.0%
	小 計	1	1	0	—	0	1	100.0%
大 学	人間栄養学科	42	39	36	92.3%	1	40	93.0%
	子ども学科	80	78	76	97.4%	1	82	96.5%
	国際教養学科	33	28	28	100.0%	1	15	88.2%
	小 計	155	145	140	96.6%	3	137	94.5%
短期大学	総合生活学科	55	48	44	91.7%	1	44	77.2%
	保育学科	104	95	95	100.0%	3	115	96.6%
	情報ビジネス学科	60	45	39	86.7%	4	27	87.1%
	小 計	219	188	178	94.7%	8	186	89.9%
合 計		375	334	318	95.2%	11	324	91.8%

就職支援委員会は、8回実施した。就職ガイダンスの参加者が徐々に減少する傾向にあり、就職支援委員の先生方と協議し、次年度は次の1～3を実施することを決定した。さらに、年

間の内容は次のとおり。

- | |
|---|
| 1 目標設定シートの作成
2 学科別の就職支援センター職員によるガイダンスの参加支援の実施
3 週1回程度の就職支援委員の先生と就職支援センター職員の情報交換 |
|---|

- | |
|--|
| 上記2の実施条件
(1) 就職支援センター職員のだれが担当するかは、就職支援センターで決める
(2) 実施日程他、当日までの準備等は、学科の就職支援委員で行う
(3) 当日の内容等は実施1週間前までに相談し、決定する
(4) 講義内容は、年間ガイダンススケジュールの内容を約45分～50分以内で圧縮したもので実施する |
|--|

回数	実施日	内 容	会 場
1	4/7 水	令和2年度の就職状況 令和3年度事業計画、委員会年間計画、就職ガイダンス年間計画、就活サポーターズの運営、昨年の事業計画最終報告、今年度初回の就職ガイダンスのプレゼン	M301
2	5/26 水	就職状況、求人数の変化、就職ガイダンス参加状況、就職ガイダンス近日開催予定	M202
3	6/23 水	就職状況、求人数の変化、就職ガイダンス参加状況及び学生の感想の一部紹介、就職ガイダンス近日開催予定、オンラインプチセミナー実施状況及び学生の感想の一部紹介、就職支援センターだよりについて	オンライン
4	7/28 水	求人数比較及び求人倍率(6月末)、就職状況、就職活動支援状況、ガイダンス参加状況、就職ガイダンス近日開催予定、オンライン会議及び出張報告(岡山私立大学就職指導研究会、第23回就職支援委員会、全国私立大学就職指導研究会)、就ナビ新卒資料(学生動向及び企業動向等)	M202
5	10/20 水	求人数比較及び求人倍率(9月末)、就職状況、就職活動支援状況、ガイダンス参加状況、就職ガイダンス近日開催予定、求人のためのご案内について、就活ガイドブックについて、研修報告(私立短期大学就職担当者研修会、障がい学生支援研修会、採用カンファレンス)	M301
6	12/15 水	各学科の就職活動の動機づけの方法について、当面の行事予定、令和4年度の事業計画、ガイダンス参加数と内定者数の相関関係、過去4年間の就職内定率の推移	M202
7	1/19 水	各学科の就職活動の動機づけの方法について継続審議及び方策、就職状況、当面の行事予定	M301
8	2/16 水	各学科の就職活動の動機づけの方法について方策案決定、就職状況、就職内定率の昨年度対比及び過去3年間の内定率の推移、2022卒進路未内定者及び2023卒就職活動促進について、当面の行事予定	M202

また、新卒応援ハローワークにおいては、10月当初から出張ハローワークが実施された。

月	10月		11月		12月		1月	
日	14(木)	28(木)	11(木)	25(木)	9(木)	23(木)	13(木)	27(木)
参加数	9	7	6	5	4	7	0	1

- | |
|--|
| 2 就職ガイダンスの工夫と改善・充実
新型コロナウイルス対策を万全にして、学生が望んでいるタイミングで、適切なガイダンス内容を実施する。また、事前申込制を継続し、外部団体等の実施するガイダンスに対応する。講義形式から、学生自ら実施するワーク形式への変更等を積極的に実施する。ガイダンス当日記入する「ガイダンス日誌」及び、各ガイダンス時に配付した資料等をファイリングさせ、就活に役立てる。 |
|--|

就職ガイダンスの今年度の特徴の一つが、2022年3月卒業予定者向けの内容を4月に実

施したことである。「履歴書・ES対策」及び「面接対策」は、昨年既に実施済であるが、本学の学生向けの直前対策として実施した。そして、2023年3月卒業予定者向けのガイダンスを5月からスタートしている。

今回も引き続き新型コロナウイルス感染対策に注意した実施である。ソーシャルディスタンスの確保、ガイダンス開始前の教室及び学生入室時の消毒である。内容は、一方的な講義からワークや実習等の動きを取り入れたものに変更している。そのために、事前申込制も継続して導入し、座席指定等の工夫及び複数教室、さらにはオンラインと並行で実施した。

新型コロナウイルス感染予防のため、外部のセミナー等でも事前申込制であり、学生が外部での活動にも対応できるようにと工夫して行っている。大学生については、2年生、1年生の参加も可能としている。

2022卒の就職ガイダンスのまとめ

日付 時間帯	回数	内容	講師他	形式	会場数
2021 4/14(水) 14:50～16:20	15	履歴書・エントリーシートはこう書こう!	株式会社マイナビ 岡山キャリアサポート課 吉田 祥 氏	講義と実習 (ワークシート)	M301
2021 4/21(水) 14:50～16:20	16	まだ間に合う! 面接対策セミナー	株式会社ビザビ 柳澤 千尋 氏	講義	M301
2021 7/7(水) 14:50～16:20	17	就活モチベーションアップセミナー	おかやま新卒応援ハローワーク 松井 克 氏	講義と実習 (ワークシート)	M301
2021 12/8(水) 14:50～16:20	18	あなたの人生を守るワークルール	おかやま新卒応援ハローワーク 伊賀 信太郎 様 松井 克 様	講義	M301

参加人数 (人)

回数	人間栄養	子ども	国際教養	小計	総合生活	保育	情報ビジネス	小計	合計
15回	6	2	3	11	18	8	8	34	45
16回	10	8	5	23	17	14	6	37	60
17回	2	5	5	12	2	0	4	6	18
18回	0	1	7	8	4	21	2	27	35

2023卒の就職ガイダンスのまとめ

日付 時間帯	回数	内容	講師他	形式	会場
5/12(水) 14:50～16:20	1	就職支援センター紹介他 (大学のみ)	就職支援部 部長 山口裕行	講義と実習 (ワークシート)	M301及び オンライン
5/19(水) 14:50～16:20	1	就職支援センター紹介他 (短大のみ)	就職支援部 部長 山口裕行	講義と実習 (ワークシート)	M301及び オンライン

日付 時間帯	回数	内容	講師他	形式	会場
6/2(水) 14:50～16:20	2	インターンシップと就職情報サイトの利用について	インターンシップ事例発表 国際教養4年生 1名 株式会社リクルート 細田 理菜 氏 株式会社マイナビ 熊谷 ひとみ 氏	先輩の経験談 就職情報サイトの登録	オンライン
6/10(木) 14:50～16:20	臨時 (人間 栄養 学科)	インターンシップと就職情報サイトの利用について	インターンシップ事例発表 国際教養4年生 1名 株式会社リクルート 細田 理菜 氏 株式会社マイナビ 吉田 祥 氏	先輩の経験談 就職情報サイトの登録	オンライン
7/14(水) 14:50～16:20	3	自己分析とインターンシップ	株式会社マイナビ 吉田 祥 氏	講義と実習 (ワークシート)	M301 M406 L309
9/8(水) 13:30～16:20	臨時	学内インターンシップフェア	(株)岡山マツダ (株)サンラヴィアン (株)外林 大善(株) つばめガス(株) (株)プレひまわり 水島信用金庫 (株)WORK SMILE LABO	説明とミニ体験	オンライン
10/6(水) 14:50～16:20	4	身だしなみ講座	はるやま商事株式会社 就活ディレクター 野村 興 様 「Aurora」メイクアップアーティスト 島 真寿美 様	講義と実演・実習	M301 M201
10/13(水) 14:50～16:20	5	就職レディネスチェックと就職活動に関する思い込み解消	就職支援センタースタッフ 株式会社シーズ 木戸 ほか 氏	実習 (ワークシート)	M301
10/20(水) 14:50～16:20	6	履歴書・ES対策講座	株式会社リクルートキャリア 細田 理菜 氏	講義と実習 (ワークシート)	M301
10/27(水) 14:50～16:20	7	面接対策講座	株式会社 ビザビ 柳澤 千尋 氏	講義と実習 (ワークシート)	M301
11/17(水) 14:50～16:20	8	企業研究①	ちょうどいい人事 代表 中川伸夫 様 両備グループ 藤田舜也 様 高橋 光 様 玉島信用金庫 山神貴雅 様 ザグザグ 下浦和也 様 石田由佳 様 岡山マツダ 金島 勇 様	パネルディスカッション	M301 M201
11/24(水) 14:50～16:20	9	先輩からのメッセージ	大学4年生及び短期大学2年生 10名	パネルディスカッション	M301 M201
12/1(水) 14:50～16:20	10	企業研究②	コオ・マネジメント 窪田 司 様 水島信用金庫 林 高広 様 ファーマシィ 田中利奈 様 ネットヨタ山陽 清水泰統 様 外林 榎本江里子 様 小林弘典 様	パネルディスカッション	M301
1/12(水) 14:50～16:20	11	企業研究③	コオ・マネジメント 窪田 司 様 プレ ひまわり 片山直樹 様 トップランク 谷口翔一 様 トスコ 田中麻世 様 香 西伸昭 様 つばめガス 嶋田梨花 様 芳原詩織 様	パネルディスカッション	M301
1/19(水) 14:50～16:20	12	求人票の見方が分かる	就職支援部 部長 山口裕行	講義と実習 (ワークシート)	M301

日付 時間帯	回数	内容	講師他	形式	会場
2/9(水) 13:30～16:00	13	学内合同企業研究セミナー	明石スクールユニフォームカンパニー 廣澤雄介 様 向 祐太 様水島信用金庫 小野真弓 様 ファーマシイ 田中利奈 様 西川真弘 様 外林 榎本江里子 様 ネットヨタ山陽 石田吉邦 様 清水泰統 様 マックスバリュ西日本 小松原 理永 様 ビーブルソフトウエア 川崎雅規 様 竹澤綾花 様 ザグザグ 下浦和也 様	面接形式	M301 M303 M304
3/14(月) 13:30～16:00	14	学内合同説明会①	カートップ 平山曉美 様 杉山詩織 様 サンラヴィアン 磯田 崇 様 南 百恵 様 岡山市農業協同組合 本田小百合 様 森山那弥 様 プレひまわり 浅野良亮 様 岡本工機 山本正太郎 様 ANAクラウンプラザホテル 山崎佳絵子 様 宮本結衣 様 岡山マツダ 金島 勇 様	面接形式	M301 M303 M304
3/15(火) 13:30～16:00		学内合同説明会②	ネットヨタ岡山 大森雄介 様 トマト銀行 田部崇倫 様 ホテルグランヴィア岡山 上原政憲 様 駒方三喜子 様 大善 秋庭佳典 様 両備グループ 高橋 光 様 藤田舜也 様 エムアンドシーシステム 福永弘和 様 山陽工業 小林利幸 様 クラップス 井上圭一郎 様 佐藤僚太 様	面接形式	M301 M303 M304

参加人数一覧（人）

		人間栄養			子ども			国際教養			3年生	小計	総合生活	保育	情報ビジネス	小計	合計
		3年生	2年生	1年生	3年生	2年生	1年生	3年生	2年生	1年生	計						
第1回	対面	12	0	0	47	1	0	9	1	0	68	70	-	-	-	0	143
	オンライン	9	0	0	56	0	1	7	0	0	72	73	-	-	-	0	
第1回	対面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		1	3	8	12	77
	オンライン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		25	35	5	65	
第2回	オンライン	35	5	0	10	1	1	13	1	0	58	66	25	29	11	65	131
臨時(栄養)	対面	38	-	-	-	-	-	-	-	-	38	38	-	-	-	0	38
第3回	対面	32	0	0	75	3	0	12	3	0	119	125	31	3	14	48	173
学内インターン	オンライン	5	1	0	0	0	0	0	0	0	5	6	9	0	6	15	21
第4回	対面	17	0	0	5	1	0	7	1	0	29	31	15	7	20	42	73
第5回	対面	4	0	0	2	2	0	2	0	0	8	10	7	1	15	23	33
第6回	対面	14	0	0	1	0	0	5	1	0	20	21	11	1	22	34	55
第7回	対面	12	0	0	0	0	0	6	0	0	18	18	13	3	24	40	58
第8回	対面	0	0	0	0	0	0	9	1	0	9	10	1	0	17	18	28
第9回	対面	6	0	0	76	0	0	2	4	0	84	88	10	60	10	80	168
第10回	対面	0	0	0	1	0	1	4	0	0	5	6	4	0	20	24	30
第11回	対面	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3	3	3	0	15	18	21
第12回	対面	0	0	0	3	0	0	1	0	0	4	4	10	2	15	27	31
第13回	対面	0	0	0	0	0	0	6	4	0	6	10	4	0	15	19	29
第14回	対面	3	0	0	0	0	0	4	0	0	7	7	5	0	5	10	17
第14回	対面	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	8	0	8	16	18

※第1回は、4大生対象のものと、短大生対象のものがある（内容は同じ）

3 インターシップの推進・強化

インターシップ実施についての情報を素早く学生に伝達する。インターシップの重要性を訴えるとともに、就職ガイダンスを強化し、学生に目的を持った参加を促す。

インターシップの実績は、就職支援センター提出の報告書によって把握している。昨年から「1dayのインターシップ」は、「1day仕事体験」とよばれることになった。報告書の提出の無い学生も存在すると思われるので、学部・学科就職支援担当の先生方の協力をいた

だき、できるだけ正確な参加人数を把握したい。

また、実施事業所は増加しており、継続して、インターンシップの重要性を訴えていく。冬期に期待している。

インターンシップ実施状況（報告書から作成）

学 科	実 施 場 所	参加延べ人数 (人) (昨年)
人 間 栄 養 学 科	尾道国際ホテル	1 (0)
子 ど も 学 科	(株)EX コミュニケーションズ	1 (4)
国 際 教 養 学 科	(株)ウッズカンパニー ANAクラウンプラザホテル岡山 (株)オーディーエル(2) 総社市役所 (株)トミヤコーポレーション はるやまホールディングス(株) (株)フレックス	8 (8)
総 合 生 活 学 科	独立行政法人国立病院機構中国四国グループ アセス(株) ネットトヨタ山陽(株) (株)ファーマシウエルシア薬局(株)	5 (22)
保 育 学 科		0 (0)
情 報 ビ ジ ネ ス 学 科	総社市役所 (株)N I C S (株)アップルハウス 晴の国岡山農業協同組合 (株)マツケイ (株)E & W	6 (8)
合 計		21 (42)

4 就活サポーターの組織化を充実する

新就活サポーターを募る。司会や受付等を経験し、後輩の就職活動をサポートしてもらう。

また、卒業生にOG・OBサポーターとして、ガイダンス等で「卒業生からのメッセージ」「先輩からのメッセージ」の講師としても協力を依頼する。

次の表の通り、司会やパネラー、アドバイザーとして、後輩のために自分の経験等を活かしたサポートをしていただいている。

2022卒の就職ガイダンスに係るサポーター

日付 時間帯	回数	内容	就活 サポーター 参加人数	就活サポーターの業務
2021 4/14(水) 14:50~16:20	15	履歴書・エントリーシート はこう書こう！	5	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード他回収
2021 4/21(水) 14:50~16:20	16	まだ間に合う！面接対策 セミナー	5	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード他回収
2021 7/7(水) 14:50~16:20	17	就活モチベーションアップ セミナー	5	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード他回収
2021 12/8(水) 14:50~16:20	18	あなたの人生を守るワー クルール	12	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 ビデオ撮 影 写真撮影 出席カード他回収 体温測定

2023卒の就職ガイダンスに係るサポーター

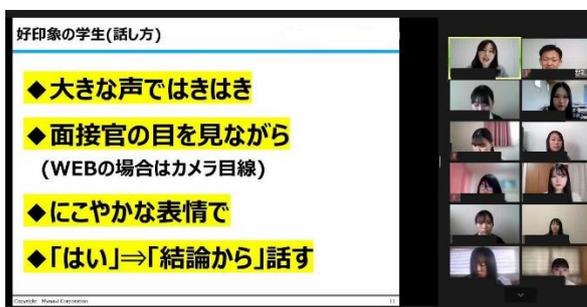
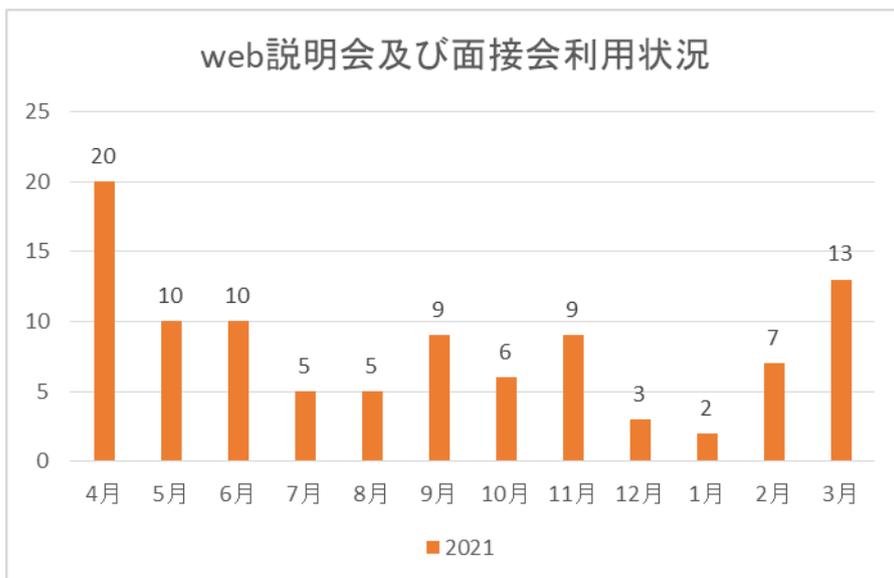
日付 時間帯	回数	内容	就活 サポーター 参加人数	就活サポーターの業務
5/12(水) 14:50~16:20	1	就職支援センター紹介他 (大学のみ)	4	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード等回収
5/19(水) 14:50~16:20	1	就職支援センター紹介他 (短大のみ)	2	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード等回収
6/2(水) 14:50~16:20	2	インターンシップと就職 情報サイトの利用について	1	インターンシップ事例発表(オンライン)
6/10(木) 14:50~16:20	臨時 (人 間栄 養学 科)	インターンシップと就職 情報サイトの利用について	1	インターンシップ事例発表(オンライン)
7/14(水) 14:50~16:20	3	自己分析とインターン シップ	7	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード等回収 イ ベント参加体験発表
9/8(水) 13:30~16:20	臨時	学内インターンシップ フェア	-	-
10/6(水) 14:50~16:20	4	身だしなみ講座	11	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 スーツ及びメイクモデ ル 出席カード等回収
10/13(水) 14:50~16:20	5	就職レディネスチェックと 就職活動に関する思い込み 解消	5	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード等回収 携帯端末入力 確認 体温測定
10/20(水) 14:50~16:20	6	履歴書・ES対策講座	2	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 出席カード等回収
10/27(水) 14:50~16:20	7	面接対策講座	7	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード等回収
11/17(水) 14:50~16:20	8	企業研究①	8	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード回収
11/24(水) 14:50~16:20	9	先輩からのメッセージ	7	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 パネラー 出席カード回収
12/1(水) 14:50~16:20	10	企業研究②	8	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード回収
1/12(水) 14:50~16:20	11	企業研究③	7	入場前アルコール消毒 指定座席への資料配付 体温測定 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード回収
1/19(水) 14:50~16:20	12	求人票の見方が分かる	6	入場前アルコール消毒 体温測定 指定座席への資料配付 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード回収
2/9(水) 13:30~16:00	13	学内合同企業研究セミナー ①	2	会場設営 入場前アルコール消毒 体温測定 指定座席へ の資料配付 司会進行 ビデオ撮影 写真撮影 出席カー ド回収 タイムインフォメーション
3/14(月) 13:30~16:00	14	学内合同説明会①	2	会場設営 入場前アルコール消毒 体温測定 指定座席へ の資料配付 ビデオ撮影 写真撮影 出席カード回収 タ イムインフォメーション
3/15(火) 13:30~16:00		学内合同説明会②	0	-

5 就職活動の支援の工夫と充実

学生が相談しやすい環境整備に取り組む。学生一人ひとりがしっかりとした履歴書やエントリーシートが書ける環境をつくるとともに、プチセミナー（オンライン含む）を適宜開催し、学生を支援する。

まず、始業開始時間8時45分から、全員で就職支援センターの清掃に取り掛かっている。新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒を実施。昨年からアクリル板も設置している。これによって、学生が安心して訪問・相談できるようにしている。学生の使用する机、椅子の整備もでき、気持ち良く学生が活動できる環境となっている。

また、新型コロナウイルス感染症対策のために、昨年度から、各企業等がオンライン説明会及びオンライン面接を実施している。それに対応して、就職支援センターの一角にオンライン説明会等に対応できる部屋を設置した。次に利用状況を記載する。



② 学生生活への支援

新型コロナウイルス感染症拡大により、学友会行事である七夕祭等が中止となった。しかし、大学祭は本来の2日から1日に短縮し、本学学生限定で感染防止を徹底して開催した。また、クリスマス会についても3密を避け体育館で開催した。

- ・ 学生生活実態調査、寮生アンケート、学生意見箱、学長と語る会等を実施し、学生の意見を集約し、学生生活の改善に努めた。
- ・ 学生支援セミナーは、「学生課外エンターテインメント」「インターネットの危険性」「エイズ・性感染症・性教育講座」の3回実施した。
- ・ レンタルサイクルやレンタル傘等の日常生活支援

学生へのレンタル用に自転車6台、傘70本を常備し、学生への便宜を図っている。利用者数は、自転車延べ173台、レンタル傘延べ122本であった。今後も計画的に新しい自転車・傘を購入し、学生の利用を図る。

③学生相談及び健康管理の充実

体調不良の学生については、各学科より逐一報告を受ける体制を整える等新型コロナウイルス感染症の予防に努め、学生の健康管理を万全の体制で行った。さらに、検温・消毒、体調管理を指示し3密回避に努めた。

学生の定期健康診断は、例年通り4月に実施し、受診率は100%であった。

学生相談については、臨床発達心理士と連携を図り学生の修学支援に努めた。

障がい学生修学支援については、合理的配慮を実施した学生が6名であった。当該学生は、令和4年度も引き続き合理的配慮を行う。大学コンソーシアム岡山「障がい学生支援委員会」とも連携を密にし、今後一層の支援対策を整えていく。

学生間での集団感染や感染拡大を未然に防止するため、麻疹・風疹の予防接種証明書の提出を徹底し、免疫有無の状態を把握している。また、定期健康診断の結果をもとに健康教育にも取り組んでいる。留学生にむけては、健康サポートもスタートさせている。

④学生への経済的支援

大学・短期大学とも高等教育修学支援新制度の対象機関として文部科学省より認定を受けている。

本学独自の奨学生制度では、令和3年度学業成績特待生20名、修学支援優待生14名が採用された。その他卒業生の子の入学優遇制度に21名、兄弟姉妹在学生支援制度に10名、沖縄等遠隔地学生支援制度に3名が該当した。

日本学生支援機構の奨学生は令和3年度、大学、短大と合わせて686名で学生全体の63%に達している。(令和2年度61%)さらに、本学提携の民間金融機関の教育ローンの紹介にも努め、個人相談にも随時対応した。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けた学生への経済的支援の取組として、日本学生支援機構と後援会の援助金により、在籍学生全員に学生食堂・売店で使用することのできる食事券(¥2500)を無料で配布した。また、JA岡山よりコロナ禍で経済的に困窮した学生のために無償でインスタントラーメンの提供があり、17名の留学生に配布した。

(4)図書館活動の充実

① 学生の積極的な学習のための支援

・例年行っている新入生オリエンテーションは学部・学科の協力で前期中に行うことができた。OPAC検索や文献検索ガイダンスは、ゼミ等の申し込みにより随時行っている。説明用マニュアルもガイダンス前に点検し、更新している。9月に更新したOPACシステムのマニュアルは更新済み。

今年度は、『読書手帳』を作成し、1年生全員に配布した。レポート作成に役立つよう、書誌事項を記録できるように配慮している。

・図書館大賞は読書感想文部門・自由部門に各4篇の応募があり、一次審査・学長による最終審査の結果、各部門2名ずつ佳作が選出された。例年より応募者は少ないが、昨年度まで大半を占めていた課題提出ではなく自主的な提出であることが特筆点である。

・昨年度設置した展示書架により、新着図書や学生選書図書がより目に留まりやすくなった。テーマ展示のコーナーも同時に増設したが、テーマや展示時期が課題である。

② 大学の知的財産の積極的活用

・学生が資料を探しやすいよう、開架書架の整理・図書の移動を行っている。

・システムの変更等で滞っていた学術情報リポジトリの入力を再開し、91件のデータを追加登録した。

・図書館システム未登録の図書館資料(図書・視聴覚資料)の入力を引き続き進めている。

- また、数年来入力作業を続けている各大学紀要のコンテンツの入力も行っている。
- ・ 国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用参加申請を行った(承認待ち中)。

③ 資産の維持管理の強化

- ・ 学生サポーターや学生アルバイトは、コロナ禍の影響もあり、例年よりも新規学生の応募が少なかった。令和4年度以降の募集方法が課題である。
- ・ 旧音楽科から図書館に戻されたLP・CDの整理を行っている。CDは展示書架の裏側を利用して作曲家別に収納し、見出板も整備した。
- ・ 図書館情報システム「情報館」のサーバ入れ替えと再セットアップを行った。オンライン検索システム(OPAC)も同時に変更し、より早く情報提供ができるようになった。以前より使い勝手が良いという声をいただいた。

④ 地域への貢献

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策で、図書館一般公開を5月13日から10月15日まで停止した。ただし、岡山県立図書館との提携は引き続き行っており、コンピュータ予約の資料の受け渡しと返却のみ学外利用者にも行った。
- ・ 地域の小学校への読書感想文コンクールの募集は今年度も行い、89篇の応募があった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、小学生向けの新聞製作講座、介護職員向けのスキルアップ講座を行った。介護職員向けスキルアップ講座は岡山県キャリア形成訪問指導事業の助成を受けた。両講座とも山陽新聞社の協力をいただいた。

(5) グローバル化の推進

2020年4月に語学教育センターは本学のグローバル化を推進するために設立された。残念ながらコロナ禍の世界的蔓延の時期に重なり、この2年間当初予定していた事業が展開できていない。2021年度は下記のような活動を実施した。

- ① 世界最大の留学推進企業であるEF社(エデュケーションファースト社)と提携(2020年度)し、全学の学生の留学を促進するセミナーを開催の予定であったが、コロナ禍のために延期している。
- ② 2021年度に台湾の大葉大学(6月)とベトナムのフエ大学(10月)と研究・交流のための提携調印をした。
- ③ 「英文俳句コンテスト」を7月～8月に実施し、優秀作品については千葉学長から賞状と賞品を授与した。
- ④ 「英語の漫画スクリプトコンテスト」を11月から12月に実施、優秀作品については千葉学長から賞状と賞品を授与した。
- ⑤ セタフェスティバルやハロウィーンなどの学内の交流イベントについてもコロナ禍のために中止している。

今後はコロナ禍の状況を見極めながら学生たちの長・短期の留学の推進や、提携大学との交流や共同研究の推進などを進めて行く予定である。

(6) ICT化の推進

情報処理センター及び2020年度に設置した情報教育センターを中心にICT化への対応を図った。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、昨年度整備した情報機器や通信環境をもと、5月13日から6月18日まで遠隔授業を実施した。

(7) 地域貢献への取組みの推進

コロナ禍により多くの地域連携・産官学民連携事業が中止となる中において、地域の活性化に寄与するため、10月に地域支援センターを設置し、「地域に愛される開かれた大学」としての本学の特色をさらにアピールできるよう事業の遂行に努めた。

① 公開講座

コーラス講座<コールかやのき>については、新型コロナウイルス感染拡大に伴って活動自粛の期間が長く、4月と10～12月に6回の開催にとどまった。【58名】

② 地域連携

1) 大学コンソーシアム岡山の事業への参画

- ・ 社会人向け生涯学習講座「吉備創生カレッジ」への科目提供
「認知症の最新事情」(4/20) 総合生活学科教授 韓在都 【17名】
「よくわかる食品表示」(4/22) 人間栄養学科教授 波多江崇 【20名】
「健康力を高める生活習慣」(10/21) 人間栄養学科教授 井之川仁 【14名】
「地域で子育てを楽しもう」(3/12) 保育学科講師 清水憲志 【3名】
- ・ 「日ようび子ども大学」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催者判断により、中止された。
- ・ 「エコナイト」については、クールビズへの取組等により参加したが、本学独自のイベントとして過年度に行ってきた「アコースティックライブ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

2) 地域密着型イベントへの支援

- ・ 「木堂ふるさとまつり」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催者判断により、中止された。
- ・ 11月7日にオンラインでの開催となった「吉備・陵南まちかど博物館」については、本学も後援し、準備のための実行委員会へ担当職員が参加した。

3) 産学官民連携事業への取り組み

- ・ 地域に飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業補助金(岡山県)：国際教養学科 佐々木ゼミ
- ・ 学生イノベーションチャレンジ推進事業補助金(岡山市)：国際教養学科 佐々木ゼミ

4) 高大連携(出前事業)

③ 教育支援人材育成

1) 備中子どもサポーター育成講座

- ・ 井原市・笠岡市・浅口市・矢掛町・里庄町の5市町からなる子どもサポーター一連絡協議会の委託により、子ども学科がリモートの講座を開催した。
2月17日(木)「令和3年度備中子どもサポーター育成講座」【57名】

④ 連携協定の締結

- 1) 『岡山市と中国学園大学・中国短期大学との包括的な連携協力に関する協定書』
(R3.8.30)
- 2) 『中国学園大学・中国短期大学と岡山県立岡山南高等学校との連携協力に関する協定書』
(R4.3.28.)
- 3) 『吉備中央町と中国学園大学・中国短期大学との包括的な連携協力に関する協定書』
(R4.3.30.)

(8) 教職員の意識改革と教育・研究方法の改善

IRセンターにおいて、中国学園大学・中国短期大学の教学IRに関する実施状況を調査し、収集したデータを分析・可視化した。

分析した情報を全学の各部局代表で構成されたIRセンター会議を通して学内共有し、各学部学科、事務部局の教学IRの自己検証と教育改善に役立てるとともに、幹部会、教授会への報告を通して大学執行部へ学内IR情報の現状と分析結果を提供した。

令和3年度の調査業務内容は以下の通りである。

- 教学IR項目（69細目：カリキュラム、学びの支援、学修評価、学生生活支援、進路・就職支援、国際化、連携活動、広報活動、特色ある取り組み等）に関する各学部、事務局での実施状況の聞き取り調査と分析。
- 入学志願者、合格率、辞退率、定員充足率、退学率、留年率に関する経年変化のデータ分析。
- 退学者、休学者の経年推移とその要因分析。
- GPA分析とアセスメント、学修成果の分析（初年次と卒年次のGPA相関分析等）。
- 国家試験（管理栄養士）合格率の経年変化の調査分析。
- 各種連携活動の実施状況調査（大学間、高大連携、地域連携、産学官連携等）。

また、授業内容・方法の改善や職員の資質向上のため、次のことを実施した。

F D研修会の実施

教員を対象としたF D研修会を開催し、授業内容・方法の改善に努めた。

第1回「授業改善の取り組みについて」令和3年7月28日

第2回「授業改善の取り組みについて」令和3年10月27日

S D研修会の実施

教職員全員を対象としたS D研修会を4回実施し、教職員の資質向上に努めた。

第1回「最近の入試動向と広報戦略」令和3年7月21日

第2回「大学の財務状況について」令和3年8月25日

第3回「はじめまして！学生相談室です」令和3年9月2日

第4回「リスクマネジメントから見るハラスメント対応」令和3年9月9日

(9) 自己点検・評価及び認証評価の取り組みの推進

本学は、短期大学が（財）短期大学基準協会の2巡目の評価を受け、平成27年度末に適格認定書を交付されたところである。これに続いて大学においても、平成28年度に（財）日本高等教育評価機構の2巡目の受審を受け、平成29年3月7日付けで適格認定書の交付を受けた。

短期大学は令和4年度に、大学は令和5年度に第3クールの第三者評価機関による認証評価を受ける予定であり、6月から嘱託職員を1名雇用し、学園全体での認証評価に向けての準備を進めており、まず令和3年度の自己点検・評価を適正に行ったところである。

(10) 経営基盤の強化

①円滑な管理運営

ア. ガバナンスの確立

私立学校の経営体制の安定と財政基盤の充実には、ガバナンスの確立が必要である。そのため、2020年度に設置したIRセンターで各種情報の収集・分析を行うとともに理事会の法人業務の最終意思決定機関としての位置付けや学内理事による常任理事会の設置により、円滑な大学運営を図った。また、「理事会業務委任規則」等の確実な実施運営や常任理事会議の充実等、内部監査組織の機能強化とコンプライアンスに努めた。

イ. リスク管理体制の構築

危機管理マニュアルに基づき危機管理と危機対策を推進するとともにコンプライアンスの強化を図った。

また、これまでに7回危機管理委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症等への迅速で的確な対応を行った。

- ・各種危機への迅速で的確な対応の推進
- ・有人警備システムの効率的運用
- ・防犯カメラの運用
- ・法改正に伴う防災組織(消防組織、火災訓練等)の確立
- ・学生の避難訓練の実施

例年9月に実施している避難訓練はコロナ禍のため2月15日に(火)に規模を縮小して実施した。

- ・ネットワーク環境とセキュリティ管理のさらなる充実 等

②健全な財政運営

ア. 財政基盤の強化

激変する環境に対応し、将来に向けて安定した財務基盤を維持していくため、諸課題に具体的に対処し、方向性を明確にしたうえで、今後取り組むべき事業に経営資源を集中する。

中期計画上の施設設備拡充・整備事業計画に必要な資金を確保するため、中長期的収支差額の見通し、単年度収支差額の状況を精査し、早急に収支構造の改善を図る。

- ・経常収支の根幹である「学納金」と「人件費」のバランスに留意し、人員配置の見直しと共に業務の効率化を図り、中期計画に沿い、適正と判断される比率の確保を目指す。

人件費率 (人件費/経常収入)	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
	66.0%	70.1%	71.5%	69.9%	71.2%

- ・教育研究の充実のため、教育の質の向上、研究の活性化など、より特色のある大学づくりに向けて、教学の理念に沿い、学生の主体性を引き出し、地域社会に繋げる事業への支出とする。

教育研究経費比率 (教育研究経費/経常収入)	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
	35.6%	38.2%	37.3%	38.3%	39.8%

- ・管理経費については、先例にとらわれず、支出の内容について費用対効果、内容の妥当性を十分検討し、不急の支出を抑制すると共に今後の環境変化に柔軟に対応するため、組織の変革に資する支出とする。

管理経費率 (管理経費/経常収入)	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
	8.9%	9.0%	7.4%	6.7%	6.8%

イ. 施設設備及び各種システムの整備充実

本館等建築から経過年数の長い施設の調査を行い、改修計画を策定する。

また、質の高い教育研究の展開を可能にするために、施設設備の整備、各種システムの構築、更新・充実を引続き進める。

令和3年度は、次の事業を実施した。

- ・グラウンド防球ネット工事(令和3年5月完了)
- ・12号館M301映像設備更新(令和4年3月完了)

- ・光風寮自火報複合盤更新工事（令和3年8月完了）
- ・就職支援課エアコン更新工事（令和3年6月完了）
- ・K303 プロジェクター更新（令和4年1月完了）

ウ. E C O対策への取り組み

本学のE C O対策への取り組みについては、従前から、建物のトップライト方式や冷暖房設備を吸収式冷暖房設備からGHP（ガスヒートポンプ）冷暖房設備への切替え等を実施しているところである。

今年度は、E C O対策の周知徹底を図るとともに次の取り組みを実施した。

- ・照明器具をLED照明に更新するための年次計画の策定

エ. 職員の給与

経常収支の悪化を踏まえ、昇給停止等を含め人件費の削減を検討しているが、令和3年度は、職員の給与改定は行わなかった。

(11) 情報公開の推進

私立学校法等により情報公開が義務付けられている情報以外の情報についてもインターネットを利用して積極的に公開するとともに、各学部・学科等からもLINEやInstagramなどのSNSを利用して情報発信を積極的に進めた。

(2) 研究教育の概要

①教育研究上の基本となる組織に関する情報

大学等	学部・研究科等	学 科	課程等
中国学園大学	現代生活学部	人間栄養学科	
	子ども学部	子ども学科	
	国際教養学部	国際教養学科	
	現代生活学研究科		人間栄養学専攻
	子ども学研究科		子ども学専攻
中国短期大学	総合生活学科		
	保育学科		
	情報ビジネス学科		

②教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報

大学等	学部・研究科等	学 科	教員数
中国学園大学	現代生活学部	人間栄養学科	23人
	子ども学部	子ども学科	16人
	国際教養学部	国際教養学科	12人
	現代生活学研究科	(人間栄養学専攻)	(基礎学部を含む)
	子ども学研究科	(子ども学専攻)	(基礎学部を含む)
中国短期大学	総合生活学科		9人
	保育学科		11人
	情報ビジネス学科		8人
【教員の保有学位または職務上の実績等】 ※ 別冊 資料			

③学生に関する情報

大学等	学部・研究科等	入学定員	収容定員
中国学園大学	現代生活学部 人間栄養学科	80 3年次編入4	328
	子ども学部 子ども学科	100 3年次編入5	380
	国際教養学部 国際教養学科	50 3年次編入5	240
	現代生活学研究科 人間栄養学専攻	5	10
	子ども学研究科 子ども学専攻	5	10
	小 計	240	968
中国短期大学	総合生活学科	85	170
	保育学科	120	240
	情報ビジネス学科	80	160
	小 計	285	570
合 計		525	1,538
注（ ）は内数で編・転入者を含む			
【大学・短大：入学に関する基本的な方針】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代生活学部 人間栄養学科：中国学園大学学則第1条の2の第1号による ・ 子ども学部 子ども学科：中国学園大学学則第1条の2の第2号による ・ 国際教養学部 国際教養学科：中国学園大学学則第1条の2の第3号による ・ 現代生活学研究科 人間栄養学専攻：中国学園大学大学院学則第1条の2の第1号による ・ 子ども学研究科 子ども学専攻：中国学園大学大学院学則第1条の2の第2号による ・ 総合生活学科：中国短期大学学則第1条の2の第1号による ・ 保育学科：中国短期大学学則第1条の2の第2号による ・ 情報ビジネス学科：中国短期大学学則第1条の2の第3号による 			

④学習環境に関する情報

大学等	キャンパス	学部・研究科等	所在地	主な交通手段
中国学園大学	庭瀬 キャンパス	現代生活学部 人間栄養学科 子ども学部 子ども学科 国際教養学部 国際教養学科 現代生活学研究科 人間栄養学専攻 子ども学研究科 子ども学専攻	岡山市北区庭瀬 83番地	山陽本線庭瀬駅 下車 徒歩15分
中国短期大学		総合生活学科 保育学科 情報ビジネス学科		

⑤学生納付金に関する情報

学部・学科	授業料		入学料		その他の費用徴収		
	金額	納入時期	金額	納入時期	金額	納入時期	
中国 学園 大学	現代生活学部 人間栄養学科	50万円	4月20日 10月20日	25万円	入学手続時	50万円	4月20日 10月20日
	子ども学部 子ども学科	50万円	4月20日 10月20日	25万円	入学手続時	40万円	4月20日 10月20日
	国際教養学部 国際教養学科	59万円	4月20日 10月20日	25万円	入学手続時	40万円	4月20日 10月20日
	現代生活学研究科 人間栄養学専攻	40万円	4月20日 10月20日	25万円	入学手続時	30万円	4月20日 10月20日
	子ども学研究科 子ども学専攻	40万円	4月20日 10月20日	25万円	入学手続時	20万円	4月20日 10月20日
中国 短期 大学	総合生活学科 保育学科 情報ビジネス学科	41万円	4月20日 10月20日	25万円	入学手続時	38万円	4月20日 10月20日

⑥学生支援と奨学金に関する情報

〈学生支援〉

区 分	組 織 名	機 能
就職支援	就職支援センター	Face to Faceの支援(一人ひとりを大切に した面談) 迅速な情報発信(求人・就職情報を一人ひと りに配信) 豊富な視聴覚教材(就職活動の基本をDVD教 材で学習) 企業との信頼関係(ガイダンス、インターン シップ、実習等による) 卒業後のフォロー(卒業後の再就職の相談)
生活支援 (住居、アルバイト等)	学生課	各種情報を掲示することで学生に随時紹介 している
保健・衛生	保健室	専門職員を配置し、健康に関する相談、けが や病気の応急措置等に対応している 定期健康診断の実施及び健康診断証明書の 発行
メンタルヘルス	学生相談室	専門職員がインテーカーとして対人関係・学 業・進路・心の健康等の相談に応じている

〈奨学金〉

種 類	要 件	申 込 方 法
日本学生支援機構 給付奨学金 貸付奨学金 (第1種) (第2種)	〔給付〕 住民税非課税世帯及びそれに準 ずる世帯で学ぶ意欲がある学生 〔貸付〕 経済的理由により修学が困難で、 優れた学生であると認められる 人	本人の願い出により選考し、日 本学生支援機構へ学生課を経由 して推薦
地方公共団体による奨 学金 ・岡山市奨学生 ・倉敷市奨学生	それぞれ市内居住者またはその 子ども 人物、学業ともに優秀、健康 経済的理由により修学困難 他の奨学金を受けていないこと 等	本人が直接該当市教育委員会事 務局へ申請 担任による推薦調書が必要
ノートルダム育英財団	岡山県内の大学・短大に在学する 学生(1年・院博士課程は除く) 人物、学業ともに優れ、将来社会 貢献を期待できる者	本人の願い出により、学生課を 経由して推薦 指導教官の推薦書が必要
あしなが育英会	病気や災害、自死(自殺)などで 親を亡くした子どもや、障がいな どで親が十分に働けない家庭の 子ども	本人の願い出により、学生課を 経由して推薦 学長または学部長の推薦が必要
交通遺児育英会	保護者等が交通事故で死亡した り、重い後遺障害のために働け ず、経済的に修学困難な学生	本人の願い出により、学生課を 経由して推薦 学長または学部長の推薦が必要
公益財団法人	人物・学業ともに優秀で経済的援	本人の願い出により、学生課を

小松奨学財団	助が必要と認められる者	経由して推薦 学長または学部長の推薦が必要
--------	-------------	--------------------------

〈特待生・優待生等〉

種 類	減 免 額 等	対 象	対象学生
学業成績特待生制度 (新入生)	A：入学金全学及び授業料(1年間)の全額免除 B：入学金全学及び授業料(1年間)の半額免除	一般選抜I期(A日程・B日程)、一般選抜(共通テスト利用I期)入学試験において特に成績優秀であった者	大学, 短大 1年次生
学業成績特待生制度 (在學生)	10万円の給付	学業、人物ともに優れた者	大学2・3・4年次生 短大2年次生
修学支援制度	①授業料(1年間)の半額免除 ②10万円以内の給付	①経済的に修学が困難になった者で成績良好な者 ②収入激減等により生活困窮者となった者	全学年
卒業生の子の入学優待制度	入学金の免除	本学卒業生を保護者とする新入生	1年次生
兄弟姉妹・在學生支援制度	在学期間の弟妹の授業料1/3相当額の免除	本学に兄弟姉妹が同時期に在学する場合、その在学期間の弟又は妹	全学年
沖縄県等遠隔地学生支援制度	入学金の免除及び寮費、管理費の半額免除	沖縄県等からの入学者	全学年
学校推薦型選抜(指定校一連携協定校)入學生支援制度	入学金の免除	学校推薦型選抜(指定校一連携協定校)入学者	大学, 短大 1年次生

(3) こども園の概要

①名称等

名 称	形 態	所 在 地	主な交通手段
中国学園大学・中国短期大学附属たねのくにこども園	幼保連携型認定こども園	岡山市北区中撫川 351番地	JR山陽本線庭瀬駅 (約2.3Km) 岡電・両備・下電バス 撫川停留所(約1Km)

②園児の状況

1) 定員：200人

1号認定			2号認定			3号認定		
3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児	0歳児	1歳児	2歳児
15人	15人	15人	25人	35人	35人	12人	24人	24人

2) 在籍者数：192人

(令和3年5月1日現在)

1号認定			2号認定			3号認定		
3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児	0歳児	1歳児	2歳児
15人	13人	14人	25人	30人	35人	12人	24人	24人

③教育・保育時間

1号認定	2・3号認定
月曜日～金曜日 休業日：土曜日・日曜日・学年始休業日・夏季休業日・冬季休業日・学年末休業日・国民の祝日に関する法律に規定する休日	月曜日～土曜日 休園日：日曜日・年末年始・国民の祝日に関する法律に規定する休日
【教育時間】 9:00～14:00	【教育・保育時間】 〈標準時間認定〉 7:00～18:00 〈短時間認定〉 8:30～16:30
○一時預かり	○延長保育 ○休日保育 ○一時預かり

(4) 財務の概要

(1) 資金収支の推移 (法人全体)

資金収支計算書は当該会計年度（4月1日から翌年3月31日）に行った諸活動に対応する全ての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにし、資金の顛末を表すものです。

法人名：学校法人 中国学園

資金収支計算書の状況

(単位：千円)

収入の部					
科 目	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金収入	1,110,989	1,101,841	1,148,870	1,135,319	1,064,486
手数料収入	14,880	16,670	16,025	13,942	13,300
寄付金収入	6,200	7,608	6,490	5,571	12,890
補助金収入	115,528	455,561	296,232	392,463	365,506
国庫補助金収入	113,409	134,943	128,675	189,569	170,835
地方公共団体補助金収入	2,119	320,618	167,557	202,893	194,672
資産売却収入	1,858,064	1,400,085	300,000	949,489	881,971
付随事業・収益事業収入	21,576	17,790	11,494	13,433	10,822
受取利息・配当金収入	53,595	38,799	26,619	21,683	32,015
雑収入	57,511	44,987	39,945	62,316	32,014
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	280,176	297,485	291,157	232,143	231,250
その他の収入	315,720	344,534	666,641	403,570	390,691
資金収入調整勘定	△ 325,668	△ 632,761	△ 345,721	△ 370,653	△ 261,511
前年度繰越支払資金	975,575	999,411	827,807	984,014	832,550
収入の部合計	4,484,147	4,092,009	3,285,561	3,843,290	3,605,984
支出の部					
科 目	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
人件費支出	920,250	953,407	1,103,117	1,136,952	1,089,390
教育研究経費支出	265,217	294,100	305,447	345,454	352,243
管理経費支出	112,956	118,480	101,580	98,531	93,137
借入金等利息支出	4,968	4,383	3,799	3,214	2,630
借入金等返済支出	30,760	30,760	30,760	30,760	30,760
施設関係支出	9,823	1,080,789	10,731	3,949	7,796
設備関係支出	37,774	98,766	37,852	75,770	41,775
資産運用支出	1,850,000	400,000	400,000	952,000	600,000
その他の支出	278,780	336,439	353,164	412,872	359,165
資金支出調整勘定	△ 25,791	△ 52,922	△ 44,903	△ 48,762	△ 38,446
翌年度繰越支払資金	999,411	827,807	984,014	832,550	1,067,535
支出の部合計	4,484,147	4,092,009	3,285,561	3,843,290	3,605,984

* 各表は科目ごとに千円未満を四捨五入しているため、合計が一致していない場合があります。

(2) 活動ごとの資金収支の推移（法人全体）

活動区分資金収支計算書は、学校法人の活動ごとの資金の流れを明らかにすることを目的として作成される計算書です。

具体的には、資金収支計算書の決算額を①教育活動、②施設整備等活動、③その他の活動に区分したものです。

法人名：学校法人 中国学園

活動区分資金収支計算書の状況

(単位：千円)

科 目		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
教育活動による資金収支	収入					
	学生生徒等納付金収入	1,110,989	1,101,841	1,148,870	1,135,319	1,064,486
	手数料収入	14,880	16,670	16,025	13,942	13,300
	経常費等補助金収入	111,868	134,303	290,938	375,681	365,433
	教育活動資金収入計	1,323,024	1,318,199	1,508,763	1,601,261	1,493,945
	支出					
人件費支出	920,250	953,407	1,103,117	1,136,952	1,089,390	
教育研究経費支出	265,217	294,100	305,447	345,454	352,243	
調整勘定等	16,856	33,294	△ 17,165	△ 94,695	34,256	
施設整備等活動による資金収支	科 目	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	収入					
	施設設備補助金収入	3,660	321,258	5,294	16,782	73
	施設整備等活動資金収入計	3,785	326,343	10,294	21,804	5,073
	支出					
	施設関係支出	9,823	1,080,789	10,731	3,949	7,796
	設備関係支出	37,774	98,766	37,852	75,770	41,775
	施設整備等活動資金支出計	47,597	1,179,555	48,583	79,719	49,571
差引	△ 43,812	△ 853,212	△ 38,289	△ 57,915	△ 44,498	
調整勘定等	△ 6,013	△ 299,984	315,670	△ 8,876	3,737	
施設整備等活動資金収支差額	△ 49,824	△ 1,153,196	277,381	△ 66,792	△ 40,761	
その他の活動による資金収支	科 目	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	収入					
	借入金等収入	0	0	0	0	0
	小計	2,116,871	1,691,670	616,509	1,307,514	1,194,854
	受取利息・配当金収入	53,595	38,799	26,619	21,683	32,015
	その他の活動資金収入計	2,170,466	1,730,468	643,128	1,329,197	1,226,870
	支出					
	借入金等返済支出	30,760	30,760	30,760	30,760	30,760
	小計	2,133,295	729,999	741,956	1,336,286	941,924
	借入金等利息支出	4,968	4,383	3,799	3,214	2,630
調整勘定等	0	0	0	0	0	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	23,836	△ 171,604	156,207	△ 151,465	234,986	
前年度繰越支払資金	975,575	999,411	827,807	984,014	832,550	
翌年度繰越支払資金	999,411	827,807	984,014	832,550	1,067,535	

* 主要科目のみ表示している場合、各計が一致していない場合があります、また科目ごとに千円未満を四捨五入しているため、合計が一致していない場合があります。

(3) 事業活動収支の推移（法人全体）

事業活動収支計算書は当該会計年度（4月1日から翌年3月31日）の事業活動収支の内容を明確にし、基本金へ組み入れる額を控除した事業活動収支の均衡を表すものです。

法人名:学校法人 中国学園

事業活動収支計算書の状況

(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	科目					
		学生生徒等納付金	1,110,989	1,101,841	1,148,870	1,135,319	1,064,486
		手数料	14,880	16,670	16,025	13,942	13,300
		寄付金	6,200	2,608	1,490	3,196	7,890
		経常費等補助金	111,868	134,303	290,938	375,681	365,433
		付随事業収入	21,576	17,790	11,494	13,433	10,822
		雑収入	57,511	44,987	39,945	62,316	32,014
	教育活動収入計	1,323,024	1,318,199	1,508,763	1,603,886	1,493,945	
	事業活動支出の部	科目					
		人件費	909,202	950,683	1,098,099	1,136,198	1,086,368
		教育研究経費	489,715	518,155	572,261	622,016	607,128
		管理経費	121,840	122,157	112,971	109,632	103,721
		徴収不能額等	1,173	2,453	2,809	1,275	2,164
教育活動支出計		1,521,930	1,593,447	1,786,140	1,869,121	1,799,381	
教育活動収支差額	△ 198,907	△ 275,248	△ 277,378	△ 265,235	△ 305,436		
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目					
		受取利息・配当金	53,644	38,847	26,668	21,683	32,015
		教育活動外収入計	53,644	38,847	26,668	21,683	32,015
	事業活動支出の部	科目					
		借入金等利息	4,968	4,383	3,799	3,214	2,630
		教育活動外支出計	4,968	4,383	3,799	3,214	2,630
教育活動外収支差額	48,677	34,464	22,869	18,469	29,385		
経常収支差額	△ 150,230	△ 240,784	△ 254,509	△ 246,767	△ 276,051		
特別収支	事業活動収入の部	科目					
		資産売却差額	8,058	77	0	240	0
		その他の特別収入	4,275	326,523	10,505	23,419	6,158
	特別収入計	12,334	326,601	10,505	23,659	6,158	
	事業活動支出の部	科目					
		資産処分差額	2,461	14,404	311	11,216	20,305
		その他の特別支出	28,001	34,493	28,000	29,565	0
		特別支出計	30,462	48,897	28,311	40,781	20,305
	特別収支差額	△ 18,129	277,703	△ 17,806	△ 17,122	△ 14,147	
	基本金組入前当年度収支差額	△ 168,359	36,919	△ 272,315	△ 263,889	△ 290,197	
基本金組入額合計	△ 35,784	△ 1,158,359	△ 47,742	△ 80,770	△ 102,009		
当年度収支差額	△ 204,143	△ 1,121,440	△ 320,057	△ 344,659	△ 392,207		
前年度繰越収支差額	△ 1,439,777	△ 1,643,920	△ 2,765,360	△ 3,085,418	△ 3,430,077		
基本金取崩額	0	0	0	0	0		
翌年度繰越収支差額	△ 1,643,920	△ 2,765,360	△ 3,085,418	△ 3,430,077	△ 3,822,283		
(参考)							
事業活動収入計	1,389,002	1,683,647	1,545,935	1,649,228	1,532,118		
事業活動支出計	1,557,361	1,646,727	1,818,250	1,913,117	1,822,315		

*各表は科目ごとに千円未満を四捨五入しているため、合計が一致していない場合があります。

(4) 貸借対照表(資産の状況)の推移(法人全体)

貸借対照表は期末(会計年度末:3月31日)における資産・負債・純資産(基本金および繰越収支差額)を把握し、財政状態の健全性を表すものです。

法人名: 学校法人 中国学園

貸借対照表の状況

(単位:千円)

資産の部	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
科目					
固定資産	7,216,816	8,147,447	8,017,754	7,365,487	7,189,007
有形固定資産	6,112,073	7,043,984	6,815,039	6,601,428	6,385,116
土地	1,314,646	1,314,646	1,314,646	1,314,646	1,314,646
建物	4,030,295	4,831,083	4,649,338	4,454,186	4,278,211
構築物	165,844	275,857	249,199	225,203	205,511
教育研究用機器備品	175,824	215,597	191,005	204,439	182,639
その他の機器備品	11,893	11,922	11,699	9,779	9,526
図書	403,710	394,848	399,152	393,176	394,585
車両	40	32	0	0	0
建設仮勘定	9,823	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0	0
その他の固定資産	1,104,743	1,103,462	1,202,715	764,058	803,891
電話加入権	1,102	1,102	1,102	1,102	1,102
無形固定資産	0	0	0	0	0
有価証券	1,099,813	1,099,861	1,199,910	752,150	802,150
施設設備拡充引当特定資産	0	0	0	0	0
長期未収入金	0	0	0	0	0
長期前払金	3,828	2,499	1,703	10,807	639
流動資産	2,053,011	1,193,054	1,036,494	1,372,172	1,204,590
現金預金	999,411	827,807	984,014	832,550	1,067,535
未収入金	52,864	350,132	45,427	78,124	27,521
有価証券	1,000,000	0	0	450,000	100,000
立替金	0	8,444	6,735	0	0
前払金	736	6,671	318	11,498	9,534
資産の部合計	9,269,827	9,340,501	9,054,249	8,737,658	8,393,597

(単位:千円)

(単位:千円)

負債の部	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
科目					
固定負債	554,604	559,638	552,124	550,762	508,758
長期借入金	215,320	184,560	153,800	123,040	92,280
退職給与引当金	337,911	363,187	386,169	414,980	411,958
長期未払金	1,372	11,891	12,155	12,742	4,520
流動負債	377,241	405,961	399,538	348,198	336,339
短期借入金	30,760	30,760	30,760	30,760	30,760
未払金	31,131	41,668	37,968	47,857	35,171
前受金	280,176	297,485	291,157	232,143	231,250
預り金	35,174	36,049	39,653	37,438	39,158
負債の部合計	931,845	965,599	951,662	898,961	845,097
純資産の部					
科目					
基本金	9,981,902	11,140,262	11,188,004	11,268,774	11,370,784
第1号基本金	9,877,902	11,036,262	11,084,004	11,164,774	11,243,784
第2号基本金	0	0	0	0	0
第3号基本金	0	0	0	0	0
第4号基本金	104,000	104,000	104,000	104,000	127,000
繰越収支差額	△ 1,643,920	△ 2,765,360	△ 3,085,418	△ 3,430,077	△ 3,822,283
純資産の部合計	8,337,982	8,374,901	8,102,586	7,838,698	7,548,500
負債及び純資産の部合計	9,269,827	9,340,501	9,054,249	8,737,658	8,393,597

*各表は科目ごとに千円未満を四捨五入しているため、合計が一致していない場合があります。

(5) 主な財務比率の推移(法人全体)

◆ 事業活動収支計算書関係比率

	比率	計算式	比率の意味	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	経常収入に対する人件費の占める割合を示しています。この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化に繋がる要因となります。	66.0%	70.1%	71.5%	69.9%	71.2%
2	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	経常収入に対する教育研究経費の占める割合を示しています。この比率は収支均衡を失わない範囲内で高くなることが望ましいとされています。	35.6%	38.2%	37.3%	38.3%	39.8%
3	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	経常収入に対する管理経費の占める割合を示しています。ある程度の支出は止むを得ないものの、比率は低い方が望ましいとされています。	8.9%	9.0%	7.4%	6.7%	6.8%
4	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	経常収入から経常支出を差し引いた経常収支差額の経常収入に対する割合で、経常的な収支バランスを表す比率です。	△10.9%	△17.7%	△16.6%	△15.2%	△18.1%
5	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	教育活動収入から教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額の教育活動収入に対する割合で、本業である教育活動の収支バランスを示す比率です。	△15.0%	△20.9%	△18.4%	△16.5%	△20.4%

* 「経常収入」=教育活動収入計+教育活動外収入計

「経常支出」=教育活動支出計+教育活動外支出計

◆ 活動区分資金収支計算書関係比率

	比率	計算式	比率の意味	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
1	教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	教育活動資金収支差額の教育活動収入に占める割合を示し、本業である「教育活動」でキャッシュフローが生み出せているかを測る比率です。	3.1%	△1.1%	△1.2%	△4.6%	△0.4%

* 教育活動資金収入計=学生生徒等納付金収入+手数料収入+特別寄付金収入+一般寄付金収入+経常費等補助金収入+付随事業収入+雑収入

教育活動資金支出計=人件費支出+教育研究経費支出+管理経費支出

教育活動資金収支差額=教育活動資金収入計-教育活動資金支出計+教育活動調整勘定等

◆ 貸借対照表関係比率

	比率	計算式	比率の意味	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
1	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	一年以内に支出しなければならない流動負債に対して、現金預金など現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているかという、短期の支払能力を判断する重要な指標です。	544.2%	293.9%	259.4%	394.1%	358.1%
2	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	施設設備の更新や教職員の退職金資金等、将来の確定的債務等について、どの程度保有資産の裏付けがあるかを表す比率です。この比率は高い方が望ましいとされています。	71.2%	42.0%	44.9%	39.5%	36.4%

* 運用資産=現金預金+特定資産+有価証券(固定・流動)

要積立額=減価償却累計額+退職給与引当金+2号基本金+3号基本金